

地域力を活用した通学路の安全を確保する取組 ～地域安全マップを作ろう～（宇部市立神原小学校）

〈ねらい〉

学校運営協議会等が母体となり、学校・家庭・地域が連携して、学校安全を交通安全の観点から、通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動を支援することにより、地域ぐるみで学校安全活動の充実を図るとともに、通学路の安全対策等を推進する。



取 組 内 容

- 1 実施期間：平成29年6月1日～平成30年1月29日
- 2 実施校：宇部市立神原小学校（校長：福井 雅子）
- 3 取組内容

取組の方向性について

《第1回 地域実践委員会の開催》

6月1日神原小学校で、第1回地域実践委員会を開催しました。神原校区の通学路の安全を確保する取組の現状や課題、取組の方向性等について、話し合いが行われました。

その中で、通学路の安全を確保することは、子どもたちが充実した学校生活を送るためには、不可欠な取組で、「登下校の見守り活動」「通学路の安全点検」「通学路の安全マップの作成」など、学校が保護者や地域の方々のお力添えをいただきながらすすめることを確認しました。



〔第1回実践委員会の様子〕

具体的な取組

1 通学路安全マップの作製

（1）児童による校区内の安全点検

3班に分かれて、3名の通学路安全対策アドバイザー、教職員と一緒に神原小学校区内の交通安全の危険がある場所・注意すべき場所を点検しました。

通学路安全対策アドバイザーに話を聞きながら、子どもたち自身では気づかない危険な場所にも目を向けさせることができました。また、協力しながら持参した下書き用の地図に危険な場所を記入し、タブレットで撮影を行いました。

校区内の危険箇所は、鉄道の踏切、長い横断歩道、信号機のない横断歩道、見通しが悪い道路、歩道や路側帯のない道路、道幅の狭い道路、大型店舗の駐車場の出入り口などでした。



〔通学路の安全点検〕

(2) 地域安全マップと危険予測学習 (KYT) 資料の作成

地域安全マップづくりは、交通事故の危険がある場所や注意すべき場所を自分たち自身で考える契機となり、危険予測・回避能力の育成や自分の身は自分で守るという安全意識の高揚にもつながります。そこで、2名の通学路安全対策アドバイザーの協力を得て、安全調査のまとめを行いました。「地域安全マップ」や「危険予測学習資料」を作成する際には、何が危険で、どのようにその危険から回避するかを明確にしてから、作成することの大切さを教えてくださいました。

大判の模造紙に道路や建物を描き、注意を促す場所に印をつけて写真を貼りました。また、絵や記号、色などを使ったり、吹き出しを入れたコメントを一緒に書いたりして、一目でなぜその場所が危険なのかがわかるように工夫をしていました。



〔地域安全マップの作成〕

(3) 「神原校区文化祭」での発表

10月の神原校区文化祭で、保護者・地域の方に向けて、地域安全マップや危険予測学習資料を使って、神原校区の危険箇所や危険予測学習の重要性について発表しました。

大勢の前で発表することで、子どもたちの地域への情報発信力の向上や、参加者も神原校区の危険箇所についての共通認識を図ることができました。

また、同時に文化祭会場に、地域安全マップを掲示して、児童・保護者・地域へ啓発を行いました。(現在は神原小学校南校舎3階の廊下に掲示しています。)

(4) 1年生と2年生への発表

作成した地域安全マップと危険予測学習資料を使って、1年生に通学路の危険箇所の発表をしました。クイズ形式で「どこが危ないか」、「この後どんな危ないことが起こるか」、「危なくならないようにするためには、どんな事に気をつけたらよいか」などを質問したり、ていねいに説明したりしました。

1年生の発表後、それぞれの班で振り返りをして、発表の仕方や内容などを見直しました。それから、再度発表練習をして2年生に発表しました。



〔神原校区文化祭での発表〕

〔1年生への発表〕

〔2年生への発表〕

2 地域活動連絡協議会等との合同安全点検

地域活動連絡協議会等のみなさんに参加していただいて地域内の安全点検を行いました。

登校班ごとに「子ども110番の家」や通学路の危険箇所を確認しながら下校しました。点検に当たっては、通学路だけでなく地域全体の安全を高めるよう留意して行いました。

また、土曜参観日や夏休みの清掃活動日には親子で一緒に歩いて下校し、通学路の安全点検を3回行いました。さらに、4月と3月の地区児童会の後は、地区担当の教職員と児童とで通学路の安全点検をしながら一緒に下校しました。

また、見守り活動をしてくださる交通安全推進協議会、地域活動連絡協議会、防犯連絡所指導

員協議会などの地域の関係団体のみなさんをお招きして、3月に感謝の集いを行っています。毎日、登校時に見守り活動をしてくださることに、6年生がお礼の呼びかけと合唱で、感謝の気持ちを表しています。



〔地域活動連絡協議会との合同安全点検〕〔親子で一緒に下校〕

〔感謝の集い〕

3 地域力を活用した登下校時の見守り活動

神原校区交通安全推進委員さんや防犯連絡所指導員さんには、毎朝、横断歩道で見守り活動をしていただいています。管理職も毎朝、決まった場所で見守り活動をしています。また、毎月1日にはPTAの協力員のみなさんが、15日には教職員が、1日と15日の両日は宇部警察署の警察官のみなさんが見守り活動をしています



〔登下校の見守り活動〕

取組の総括

《第2回 地域実践委員会の開催》

1月29日に、第2回実践委員会を開催しました。

委員会では教頭が神原小学校の今年度実施した取組を紹介した後、今後の神原小学校での通学路の安全を確保する取組について、話し合いました。

通学路の安全を確保する取組については、単年度の取組に終わらず、修正・改善などをしながら取組を継続していくことや、学校・家庭・地域が連携して子どもの安全を確保していくことが重要であることを再確認しました。



〔第2回実践委員会の様子〕

4 成果と今後に向けて

《成果》

- 児童自らが危険に気づき、安全意識が高まった。(安全意識の高揚)
- 上級生が下級生に発表したことにより、下級生に交通安全に気をつけるように促す行動の変容が見られるようになった。(行動の変容)
- 家庭や地域、関係機関との連携により、地域全体で交通安全の取組の充実を図ることができた。(家庭・地域との連携強化)
- 自分たちが調査したことを地域に情報発信することにより、充実感を味わうことができた。(地域貢献)

《今後に向けて》

- 家庭や地域の方々に協力をしていただいて、児童や教職員と一緒に通学路の安全点検を実施したり、地域安全マップを作成したりできるようにする。
- 家庭・地域を巻き込んだ危険予測学習を実施するとともに、関係機関とも連携した交通安全の継続的な取組を強化する。